

新しい伝統を創つくっている生徒たち

伝統とは何でしょうか。今日は取っつきにくいと思える話題から入ります。先日、それをはっきりと教えてくれる素敵な事実がありましたので書こうと思います。

生徒会新聞第六号を読んで、私の中に感動が生まれました。そして、伝統というものがはっきりとわかりました。北中が誕生して二年目ですが、今年度の生徒たちは早くも昨年度とは違う形で活動を展開しています。新聞の内容はアルミ缶回収。回収への参加の仕方（工夫を生徒たちは取り入れました。再利用できる袋の利用）の工夫を生徒たちは取り入れました。

伝統とは、以前から続いていることをそのまま受け継ぐことではありません。時は流れていますし、その時代その時代に活躍する人間が違います。前年度の実績をそのまま引き継いでも、それは単なる繰り返し。「現状維持は後退」です。事情があつてアルミ缶をもってこられない生徒への配慮、全国的にレジ袋を廃止しようとしていることへの協力を、北中の生徒会活動に取り入れて新しいアルミ缶回収の活動を展開しています。これは今までにはなかったことでした。今までになかったことをしているから、私は今年度の生徒たちの息づかいを感じます。

伝統とは、これまでであったものをそのまま受け継ぐことではなく、時代時代にあつたやり方に変えたり、よりよくするために工夫やアレンジを加えたりして変化させることです。その中で、アルミ缶回収というボランティア精神は、しっかりと貫かれていますからね。

（八月十九日 記）



生徒会新聞

№0.6

発行所

M M

八月十八日

第3回アルミ缶回収

今までは執行部が立て、アルミ缶を回収していましたが、密回避のため、「カゴ」のみ設置にします。持ってきた人は、カゴに入れ、ごみ袋は、黒い袋に入れて下さい!! (プラスチック袋を削減しましょう!!)

アルミ缶が家になくて、ボランティアに参加できない人は、8:50ごろに、生徒玄関前に集まり、一緒にアルミ缶を片付けましょう!! 密を回避するため、A組はB組は(休) C,D組は(休)来て下さい!! 読んでください (気が)

DTのエココーナー!!

いつもアルミ缶回収にご協力ありがとうございます!! 今年度から環境の中で「エコ」を取り入れて活動しています。そこでアルミ缶回収の袋を再利用できるものに変えたいです

